



上中だより

No.13 令和2年6月発行
横浜市立上飯田中学校
校長 山川伸二

がつつたち がっこう さいかい 6月1日、学校が再開されました！

学校が再開されて、1週間になります。分散登校による少人数の授業ですが、徐々に学校生活が戻ってきています。授業中の緊張感あふれる姿勢、時より見られる笑顔や仲間との楽しそうな会話、皆さんの活動があってこそこの学校だという思いを日々あらためて実感し、皆さんの様子にうれしい気持ちがこみ上げてきます。このような未だかつてない状況での学校生活ですが、一人ひとりが4月当初に掲げた「目標」を思い起こし、1日1日を大切にしましょう。決して慌てることなく焦らずに、一步一步お互いに支え合いながら、頑張りたいと思います。不安や心配があって、当たり前です。しかし、皆さんは一人ではありません。仲間がいて、家族がいて、そして先生方がいます。時には立ち止まり、ゆっくり顔をあげて周りを見てください。今まで見えなかったあたたかさが見えてくるはずです。「安心と信頼」、全員が共有して進んでいきたいですね。

「新型コロナウイルスとの共生」

「生命」の大切さを第一に、「上中の新しい生活様式10か条」の徹底を

緊急事態宣言が解除されたものの、ここ数日の神奈川県、横浜市の感染拡大状況は、依然として不安が続く、第2波の心配も予想されます。来週には解除後はじめて「神奈川警戒アラート」発動の可能性もあるかもしれません。行動自粛が緩和されて学校が再開しましたが、皆さんの一番の願い、そして希望でもある学校生活を確実に継続するためには、まだまだ感染拡大防止へのお互いの努力が求められています。自分の、仲間の「生命」を守ることが何より必要です。そのためにも、登校初日に皆さんに周知した「上中の新しい生活様式10か条」を全員で心がけ、徹底したいと思います。今週、朝の検温の確認、健康観察票の提出、そしてマスクの着用状況は素晴らしかったと思います。これからも続けていきましょう。皆さんの意識の高さと自覚ある行動に感謝します。しかし、授業が始まり学校生活になれてくる中、繰り返しの手洗いや仲間との距離等、つつい守ることが難しい状況も目立ってきました。現在、感染拡大が完全に収束することの困難さからも、今回の厳しい経験を通して、自分たち自身が自分たちの生活を変えて、新たな生活様式を定着させることが必要だといわれています。まさに、この10か条が示す生活様式を上飯田中で当たり前になることが大切だと思います。6月は、全員で10か条を自覚して取り組み、学校生活として定着させることを目標にしましょう。

「安心・安全な環境づくり」に努めています！

この「上中の新しい生活様式10か条」に基づく、新しい学校生活の在り方を定着させるためには、また学校再開後皆さんが意欲的に授業や活動に取り組むためにも、何より大切なことは「安心、そして安全な学校環境の必要性」だと考え、先生方全員が協力して、皆さんの分散登校にあわせて、午前、午後ともに下校後に、教室、階段等々、皆さんが使用した場所の「消毒」を徹底しています。横浜市ガイドラインに従い、丁寧に行うことで、皆さんが安心して学校生活を送れるように努力しています。単に、新しい生活様式を当たり前にするだけでなく、消毒済みかどうかをきちんと知らせ、安全が確保されていることを周知しながら、安心の中での授業や活動を大切にしたいと思っています。これからも継続していきます。今までの「行動自粛」がもたらした成果と同様に、全員が力を合わせて、「新型コロナウイルスとの共生」を確立したいと思います。よろしくお願いいたします。

また、今週中には関東でも「梅雨入り」の宣言があるとのことです。感染拡大防止とともに「熱中症」への意識も重要です。マスク着用をふまえ、とにかく水分補給への高い意識が必要です。全員が取り組まなければならないことですね。



毎日2回、先生方が消毒を行っています。



がっこうきょういくもくひょう
学校教育目標 : ダイバーシティ DIVERSITY 上飯田中

たようせい みと たいせつ ひとり
「多様性」を認め、大切にできる一人ひとりに！ (その1)

みな がっこうきょういくもくひょう かみいだちゅう おぼ がっこう
皆さんは、「学校教育目標 : ダイバーシティ DIVERSITY 上飯田中」を覚えていますか。学校
せいかつ とお たようせい みと たいせつ ひとり ねが こ
生活を通して、いつも「多様性」を認め、大切にできる一人ひとりであってほしいとの願いが込め
られています。きび じょうきょう ねん おお ぼめん たようせい かんが じぶん
厳しい状況の1年だからこそ、多くの場面で「多様性」を考え、自分のことと
してとらえてほしいと思い、今年(ことし)は学校(がっこう)だより(おも)で取り上げ、皆(みんな)の目標(もくひょう)にしたい(おも)と思います。

かみいだちゅう こくさいきょうしつ みちか さんざい
上飯田中にある「国際教室」を身近な存在に！

かみいだちゅうがっこう かみいだ ぎょういくもくひょう にほんいがい くにぐに
上飯田中学校では「ダイバーシティ 上飯田」を教育目標として、日本以外の国々にルーツがあ
る生徒(せいと)たち(とも)と共に(たが)互(あ)いを尊重(そんちょう)し、多様性(たようせい)を認め(みと)て学校生活(がっこうせいかつ)が行(おこな)われています。

みな とう かい こくさいきょうしつ し こくさいきょうしつ みな
さて、皆さんA棟2階にある国際教室ってどのようなところか知っていますか。国際教室は皆さん
なか にほんご せいと にほんご ちゅうしん べんきょう ぼしよ こくさい
の中で日本語等を学習する必要がある生徒たちが、日本語を中心に勉強する場所です。しかし、国際
きょうしつ にほんご まな ぼしよ にはありません。にほんに きたばかりの せいと にとっては日本の生活様
式(しき)やルールを学ぶ場所でもあります。ふだんの授業(じゅぎょう)では、学校(がっこう)の先生(せんせい)方(かた)だけでなく外国(がいこく)の言葉(ことば)に堪能(たんのう)
な支援員(しえんいん)の方(かた)がたにも助(たす)けていただき、それぞれの国(くに)々(ご)に ことば つか じゅぎょう
を使って(つか)授業(じゅぎょう)をしています。

こくさいきょうしつ みな がいこく ゆうじん ぶんか れきしてきはけい し ひと
この国際教室は皆さんにとって外国にルーツのある友人の文化や歴史的背景を知るきっかけの一つ
であって(あ)欲しい(ほ)いです。きょうしつないにはカンボジア・アンコールワットのレリーフ(ちようこく)の写(うつ)しや外国
の貴重(きんじゆう)な品(しな)々(じな)が多数(たすう)あります。教室(きょうしつ)に来て、それら(それら)に直(じか)に触(ふ)れ、他(ほか)の国(くに)々(ご)やまだ知(し)らない世界(せかい)に興味(きょうみ)
を持つ(も)つことができ(う)れば嬉(うれ)しいです。きっと、誰(だれ)にとってもこくさいきょうしつ そうごりかい きょういくもくひょう
ダイバーシティ 多様性(たようせい)の大切(たいせつ)さを学(まな)ぶ場所(ばしよ)になると(おも)います。ぜひ(ぜひ)一度(いちど)教室(きょうしつ)に来て(き)ください。

【国際教室担当 坂本先生 から】



こくさいきょうしつ ようす
国際教室の様子です。

「ウイルスの次にやってくるもの・・・」とは。

差別や偏見を許さないための一歩は、差別する自分に気づくこと

新型コロナウイルス感染拡大が続く中、決してあってはならない、不当な偏見や差別が現実化しています。心無い発言、そして行動で、実際に苦しみ、傷ついている人がたくさんいます。もちろん学校においても同様であり、皆さん自身が仲間とのかかわりの中で、不当な差別が決してあってはならないことを肝に銘じなければならないと思います。先週教育相談を行う際に、待っている間を活用して、全員が「ウイルスの次にやってくるもの・・・」という課題に取り組みました。学んだことを大切に、常に自らの胸に手を当て、自分こととしてとらえるように努力してほしいと思います。感染症においては、第1の感染症が「病気そのもの」、第2の感染症は「不安と恐れ」、そして第3の感染症が、「嫌悪・偏見・差別」と言われています。(日本赤十字社の発信より)今の厳しい状況を皆で乗り越えていくためにも、一人ひとりがあたたかさを大事にして、差別を許さない学校を目指していきたいと思えます。まずは、差別する自分にお互いが気づき、目の前の仲間の思い(痛み)を受け止められる自分を大切にしましょう。それこそが、多様性を認め、大切にできる皆さんだと思えます。

ほんねんど ちゃくにん せんせい 本年度、着任された先生からのメッセージ！

大変遅くなってしまい、申し訳なかったです。この4月上飯田中学校に着任された先生方を紹介します。入学式、そして始業式では、感染拡大防止を大切に考えて、できる限り短時間での実施としたため、名前の紹介のみとなってしまいました。これから、一緒に学び、ともに活動して、皆さんにとって有意義な学校生活となるよう、支え、助言し、指導する先生方です。皆さんへのメッセージをしっかりと受け止め、この厳しい1年を力を合わせて乗り越えていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

やまぐち たかこ えいご がくわんしよぞく ねん くみふくたんにん 山口 貴子 英語 1学年所属(1年1組副担任)

こんにちは。4月に同じ泉区の中和田中学校から異動してきました。1年生と3年生の英語を教えます。よろしくお願ひします。

私が英語の先生になったのは中学1年生の時に会った英語の先生の影響が大きいです。その先生からは英語の楽しさを教わりました。将来英語を使うかはわからないけれど、みんなにも「英語って楽しい！おもしろい！」って感じてもらえるような授業を一緒にできればいいなと思っています。

久しぶりの転勤で上飯田に来て、みんなに会えるのをとても楽しみにしていました。学校が休校中は、勉強もあまり進められず、友達と会って遊んだり、お話をするのがなかなかできないという不安があったと思えます。どんなことでもいいので、気軽に話しかけてください。いろいろ聞いてください。私はおしゃべりが好きなので、ぜひ上飯田で楽しい時間を一緒に過ごしていきましょう。

宗田 雄輝 理科 1学年所蔵(1年2組担任)

南区にある永田中学校から今年度から上飯田中学校に来ました宗田といたします。よろしくお願ひします。上中のみなさんと学校行事や授業、普段の生活を存分に楽しみたいですが、世界中が大変な状況です。落ち着いてきたのかもわからない様子で、まだまだみなさんも心配なことがたくさんあると思います。けれど、こんな状況だからこそ、「今やるべきこと」は意外とたくさんあるのかと思います。私は「学校の先生」であり、みなさんのそばに縁があつてきました。私の「今やるべきこと」は「みなさんの学校生活を充実させること」です。一緒に頑張りましょう！これからよろしくお願ひします。

澤井 陽子 美術 1学年所属(3組副担任)

10年くらい前に陶芸の世界に触れ、去年は陶芸家さんの下で勉強しながら作家として作品制作に励みました。作品を作つて発表するということは、自分と向き合うことで、自然の美しさと同様に、人もそうあればいいということが解つてきます。「こんな意味がない」「価値がない」という思いは人の心をむしばみます。美術科に期待されていることの1つが「新しい価値を見出す」こと。それはAIには出来ない、人にしか出来ない事だそうです。これから一緒に美術を学ぶ皆さんが、自分のすばらしさや仲間のすばらしさに気が付いたり、見出したりする、そんな時間になりたいです。

大場 和江 保健体育科 2学年所属

保土ヶ谷区の岩崎中学校から来た大場です。2学年に所属し、2年男子の保健体育の授業と、国際教室のお手伝いをさせていただきます。私は、平成9年から10年間上飯田中にいました。13年ぶりに上中の校舎内を歩いてみて、B棟の踊り場にかけてある作品や、壁の傷などがあの頃のまま、とても懐かしくなりました。昔も今も変わらない事もありますが、変わらなければいけない事もあります…。今を大切に、自分を大切に、仲間を大切に、これから元気に頑張っていきたいと思います。

木内 淳美 数学 1学年所属

初めまして。木内です。2年生・3年生のみんなは初めましてではないです。去年も数学の授業や文化祭・体育祭などでよく見かけたのではないのでしょうか。今年もみんなの数学の授業をサポートしていきます。数学の授業でわからないところがあったらいつでも聞いてください。私は上飯田中学校の卒業生です。在学生の頃はみんなと同じように通学路を通して登校し、同じこの上中の校舎で勉強していました。今年には様々なことが起こり、戸惑ったり、困ったりすることもあると思います。そういう時は一人で悩まず、先生や友達、お家の人に相談するようにしましょう。みんなと楽しい上飯田中学校生活を送ることが楽しみです。

保護者、そして地域の皆様、6月1日から学校が「再開」しました。これまで、3カ月という長きにわたった「休業期間」においては、今までに経験したことがない厳しい状況の中、いつも生徒をあたたく見守り、家庭での生活や学習を支えていただいたことに心から感謝申し上げます。待ちに待った学校生活が始まりました。段階的なスタートとはいえ、生徒の様子を丁寧に把握しながら、子どもたちが前向きな姿勢で臨めるように、全職員が協力して努力したいと思えます。今回の厳しさが必ず終息し、この経験が生徒にとってきっと意義あるものとなることを信じて取り組みます。今後ご理解とご協力をお願いします。現状では、これからの学校の予定を明確に示すことができませんが、はっきりしたところで必ずお知らせしますので、ご理解ください。

なお、この6月学校だよりにおいて、上飯田中の「令和元年度決算報告書、及び令和2年度執行計画書」を添付します。有意義な学校予算の執行に努めますので、ご確認をお願いします。

【 学校教育目標 】	ダイバーシティ DIVERSITY 上飯田中	《多様性》
か のうせい 【知】 み とめあい 【徳・公】 い ぶんか 【公・開】 い のち 【体・徳】 た くましく 【体・徳】	《 具体的な目標 》 知 ：基礎・基本の定着を図るため、自らがつまずきに気づき、その課題解決に取り組むことにより、学ぶことの大切さや喜びを感じながら、あきらめないねば強い子どもを育てます。 徳 ：物事を正しく判断し、責任ある行動をとり、人と人の心のふれあいをとおして、個をみつめ、自他ともに大切に育てます。 体 ：生命を尊重し、自ら心と身体を健やかに育み、基本的な生活習慣を身につけるとともに、自然を愛する心と、健康と安全について考え実践できる子どもを育てます。 公 ：横浜を見つめ、かかわり、「まち」を愛し「まち」とともに歩み、そして地域の一員として、協力しあってよりよい集団や社会を築こうとする子どもを育てます。 開 ：日本の文化や伝統を大切にするとともに、広い視野をもち、異なる文化を互いに認め合い、人と人のつながりを大切にできる子どもを育てます。	

